

2015¹月



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

大阪100万署名150人代表団成功へ

新年あけましておめでとうございます。昨年のご奮闘に心からの感謝を申し上げます。

戦後七〇年、被爆七〇年をむかえる今年NPT再検討会議の年でもあり、核兵器禁止にむけて具体的な形で前進を図れるかどうかの正念場の年です。

昨年を上回るみんなの頑張りで、なんとしても百万を達成し百五十名の代表団を派遣して、核兵器全面禁止条約の交渉をはじめさせましょう。

核保有国のみならず日本政府までも核兵器禁止に消極的態度をとり続け、さらに高齢になられた被爆者の原爆症認定申請を却下し続けていることは断じて許されません。

核兵器も戦争もない平和な世界と日本をつくりあげる力は、私たち一人ひとりの主権者にかかっています。昨年は沖縄県知事選挙で「新基地建設反対」の翁長さんが圧勝し、総選挙でも核兵器廃絶、憲法を守る運動の先頭に立つ日本共産党が大躍進したことは本当に大きな励みになりました。今春は一斉地方選挙も予定されており、一段と多忙な年になりそうですが、お互いに元気で活動しましょう。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



原水爆禁止大阪府協議会

理事長 岩田幸雄

明けまして

おめでとーうございませう

被爆七十年、核兵器廃絶の節目の年に！

関西原水協学校 in 滋賀

今年是被爆七〇年、核兵器禁止条約の交渉開始を求めるNPT会議の歴史的な年となります。この重要な年明けに開催される2015関西原水協学校です。

毎年ですが、現在の情勢を的確にとらえ、参加者に機敏に伝える講師陣で好評です。今年の講師も緒方靖夫さん、愛須勝也さん、安井正和さんと広く深く学べる講演内容となっております。

開催場所は、滋賀県草津市になっています。滋賀原水協の仲間が奔走して会場を確保してください、初めて草津市で開催されます。

○開催日時・講座開始時間・参加費、会場

☆1月31日(土) 第1日目

・講座I 緒方靖夫さん

会場：草津市立まちづくりセンター (日本共産党副委員長)

「国際情勢と核兵器廃絶運動」

時間帯—13:35~15:15

・講座II 愛須勝也さん

「ノーモア・ヒバクシャ訴訟と被爆行政」(弁護士、ノーモア・ヒバクシャ言語団事務局長)

時間帯、15:30~17:00

☆2月1日(日) 安井正和さん

「被爆70年と日本原水協の役割」(日本原水協事務局長)

時間帯—10:00~11:30

○参加費1万5千円 各講座千円

2010年署名数を突破！

(2010年4月末最終集約：69万8839筆)

「核兵器全面禁止のアピール」署名

(2014年12月26日現在) 大阪100万署名めざして

77万1231筆

1月6日(火)5時署名宣伝行動・JR天王寺東口

核兵器の非人道性の発言続いたウィーン会議



☆会場となったホーフブルグ王宮

12月8、9日オーストリア・ウィーンで開かれた第3回目の「核兵器の人道性に関する会議」がオーストリア政府主催で開催され、158カ国が参加しました。日本被団協・日本原水協から9名の代表団が参加。第1日目カナダ在住のセツコ・サーロさん、第2日目も日本被団協事務局長・田中照美さんが被爆証言し、核兵器の非人道性を参加国で確認しました。初参加のアメリカ、イギリスは「核兵器禁止条約は非現実的」と国際的な流れを批判。日本政府代表・佐野利男軍縮大使が「(核兵器が使用されたとき救済できないに対し)あまりにも悲観的。防護服を着れば救済できる」の発言に対し、被爆者各NGOから猛抗議を受ける場面がありました。



☆署名後、折鶴に挑戦するウィーン大学の学生

ヨーロッパ屈指の名門で700年の歴史を誇るウィーン大学。9人のノーベル賞受賞者を出しています。代表団は、ロビー横で2日間原爆展を開催し多くの学生、教授から160筆の署名をいただきました。好評だったのが「オリヅル」で、悪戦苦闘して時間をかけてお持ち帰りしていました。日本からの留学生もうれしそうに訪ねてくれ、みなさん日本語が話せるのがうれしいのか、「あまり広島・長崎にこと知りません」と、夜の被爆者証言集会にも参加してくれました。日本学のイナ・ハン教授は、「今日の日のために、大江健三郎さんの広島ノート、井伏鱒二さんの黒い雨を学生と一緒に勉強してきました」とと流暢な日本語で話してくれました。たくさん学んだウィーン大学での原爆展でした。



☆クレメント大使も原爆展を訪問してくれました

ican (アイキャン：核兵器廃絶キャンペーン) 主催の「市民社会フォーラム」で原爆展を開催。そこに、オーストリア軍縮大使のクレメントさんが訪ねてくださいました。クレメント大使は、2014年原水爆禁止世界大会に参加され、「オーストリアで核兵器の人道性に関する会議を開きます。どうぞ日本からもウィーンに来て下さい」と訴えられました。この訴えに応えてくれたことへの感謝の訪問でした。核保有国9カ国をハーグ司法裁判所に提訴したマーシャル諸島、デブネス外務大臣は、日本代表団の要請に応え、「被爆70年の世界大会に参加します」と約束。2015年原水爆禁止世界大会への期待する声が強まっています。